



Polaris news

【北高新聞 NO.202513】

「異文化理解講演会」 (2025.12.4)

南山大学 スペインラテンアメリカ学科の額田有美先生にお越しいただき、「「食べ物」から学ぶスペイン語の世界」というタイトルで講演をして頂きました。「食べ物」が調査対象となること、またひとつの食べ物を取り上げても、地理的な考察、歴史的な考察、また文化的な考察ができることなどを教えていただきました。



■生徒の感想より■

- ・コスタリカでの公用語であるスペイン語は Duolingo で少し学んでいたため、理解があるつもりになっていただけ、スペイン語圏の先住民が知恵をしぼって改良した食べ物が現在世界中に広がって主食として食べられているという事実を知らなかった。言語を学ぶ際は、セットで文化なども学ぶことが必要だと感じた。
- ・「朝早く起きたらおいしいコーヒーが飲める」という、日本でいう「早起きは三文の徳」のようなことわざのような言葉も知れて、とても興味深いと思いました。
- ・地理、歴史などいろいろな面から物事を考えるのがとても大切でおもしろいと思いました。
- ・日本で暮らしている私達の中では「当たり前」の文化が他国では全然「当たり前」ではなく、より一層他国の文化に対して興味が湧きました。今後もたくさんの文化や言語を学びたいです。
- ・「米」を主食としている国はあまり多くない中で、コスタリカと日本は、東アジアと中央アメリカで全然違う場所なのに共通点があって驚きました。
- ・私が今勉強しているのは英語ですが、その次には中国語やスペイン語などのたくさんの人とつながる懸け橋になるような言語を学びたいなと改めて感じました。
- ・外国語学部というのは、今回の講話を聞く前までは、ただ外国語について学ぶような学部だと思っていましたが、実際には、外国の文化や歴史について学び、現地へ行ってフィールドワークをするということを知って、興味を抱きました。